

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理国語	単位数	2
		学年等	6年

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：『論理国語』（大修館書店）〈継続〉 副教材：『三訂版 プログレス現代文総演習 完成編』（いずな書店） 『共通テスト+センター試験国語過去問題』（尚文出版） 『実用資料読解問題集』（明治書院） 『漢字マイスター頻出漢字熟語 3000』（第一学習社）〈継続〉 『読解を深める現代文単語』（桐原書店）〈継続〉 『完成日本文学史ノート三訂版』（京都書房）〈継続〉 『速読トレーニング 1500』（数研出版）〈継続〉 『名作を味わう定番小説選』（数研出版）〈継続〉

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けている。 ア 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ウ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 エ 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 (2) 文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるように指導する。	(1) 書くこと ア 実社会やな学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 イ 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 ウ 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 エ 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 オ 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるように努めている。 (2) 多様な文章の特徴を知り、文章の構成や表現の仕方、語感等を基に考察し、他者とのかかわりの中で伝え合い、自分の思いや考えを広げようとしている。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとしている。 (4) 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

	ア 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 イ 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 ウ 推論の仕方について理解を深め使っている。 (3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けている。 ア 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めること。	主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 カ 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりしている。 (2) 読むこと ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握している。 イ 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。 ウ 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 エ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 オ 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 カ 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 キ 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。	
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	自己と他者 「心に『海』を持って」(山崎正和) コミュニケーションの手段	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・報告書、論述、要約、発表、レポート	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート

	「記号的メディアと物理的メディア」 (伊藤亜紗) メディアの変容 「ポスト真実時代のジャーナリズムの役割」 (国谷裕子) 環境へのまなざし 「地球システムの中の人間」(竹内啓)		等	
	評価点	200	200	200
2 セメ	○問題演習	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・論述、要約、発表 等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
		200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	自己と他者 「心に『海』を持って」(山崎正和)	6
	5	コミュニケーションの手段	5
	6	「記号的メディアと物理的メディア」(伊藤亜紗)第1回考査	8
	7	メディアの変容 「ポスト真実時代のジャーナリズムの役割」(国谷裕子)	6
	8	環境へのまなざし	3
	9	「地球システムの中の人間」(竹内啓)第2回考査	7
	10	○問題演習 ・問題演習によってここまで学習してきた内容の復習をする	7
	11	第3回考査	6
2セメ	12	○問題演習 ・問題演習によってここまで学習してきた内容の復習をする	6
	1	第4回考査	6
	2	第4回考査	8
	3		2

5 その他

- 「論理国語」では文章の種類を踏まえた上で、内容を多面的、多角的にとらえていく科目です。目の前の文章の内容を踏まえるのはもちろんですが、批判的な観点から別の主張をする文章なども読んでいきましょう。また、読むだけではなく、書く活動も行います。積極的に自身の考えを文字に起こし、互いの意見を交流させながら、学びを深めていきましょう。レポートの作成や報告書、小論文などの言語活動も評価の対象になります。
- 一部 ICT を活用して、振り返りなどの学習活動を行うことがあります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典探究	単位数	3
		学年等	6年文型

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：『古典探究 古文編』（数研出版） 『古典探究 漢文編』（数研出版） 副教材：『八訂版 読解をたいせつにする体系古典文法』（数研出版） 『読んで見て覚える重要古文単語 315』（桐原書店） 『三訂版 体系漢文』（数研出版） 『完成日本文学史ノート三訂版』（京都書房） 『改訂版プログレス古典総演習 発展編』（いっずな書店） 『三訂版 古典文法習得のための助動詞マスターノート』（数研出版） 『改訂版 古典文法習得のための敬語マスターノート』（数研出版） 『改訂版 漢文重要語マスターノート』（数研出版） 『改訂版 漢文句法マスターノート』（数研出版）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する次の事項を身に付けている。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 イ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 ウ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 エ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 (2) 我が国の言語文化に関する	(1) 読むことに関する次の事項を身に付けている。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 オ 古典の作品や文章について、内	・言葉がもつ価値への認識を深めている。 ・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

	次の事項を身に付けている。 ア 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 エ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 カ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 キ 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ク 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	○随筆 「二月つごもりごろに」『枕草子』 「宮に初めて参りたるころ」『枕草子』 ○漢詩 「鹿柴」「江南春」「梅花」「寄李儋・元錫」 ○日記 「鷹」『蜻蛉日記』 「土御門邸の秋」『紫式部日記』 ○文章 「桃花源記」	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・論述、要約、レポート等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
	評価点	200	200	200
2 セメ	○問題演習	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・論述、要約、レポート等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
----	---	----------	----

1セメ	4	○随筆 「二月つごもりごろに」『枕草子』	9
	5	「宮に初めて参りたるころ」『枕草子』	7
	6	○漢詩 「鹿柴」「江南春」「梅花」「寄李儋・元錫」第1回考査	12
	7	○日記 「鷹」『蜻蛉日記』 「土御門邸の秋」『紫式部日記』	9
	8		5
	9	○文章 「桃花源記」第2回考査	10
2セメ	10	○問題演習	10
	11		9
	12	第3回考査	9
	1	○問題演習	9
	2		12
	3	第4回考査	4

5 その他

- 「言語文化」の授業では小説や詩歌などの文学作品、古文、漢文などを読みます。古文単語や漢文の語彙を調べる必要があるため辞書は必須です。
- 一部 ICT を活用して、振り返りなどの学習活動を行うことがあります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典探究	単位数	2
		学年等	6年理型

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：『古典探究 古文編』（数研出版） 『古典探究 漢文編』（数研出版） 副教材：『八訂版 読解をたいせつにする体系古典文法』（数研出版） 『読んで見て覚える重要古文単語 315』（桐原書店） 『三訂版 体系漢文』（数研出版） 『完成日本文学史ノート三訂版』（京都書房） 『改訂版プログレス古典総演習 発展編』（いっずな書店） 『三訂版 古典文法習得のための助動詞マスターノート』（数研出版） 『改訂版 古典文法習得のための敬語マスターノート』（数研出版） 『改訂版 漢文重要語マスターノート』（数研出版） 『改訂版 漢文句法マスターノート』（数研出版）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けている。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 イ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。 ウ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 エ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 (2) 我が国の言語文化に関する	(1) 読むことに関する次の事項を身に付けている。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 オ 古典の作品や文章について、内	・言葉がもつ価値への認識を深めている。 ・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

	次の事項を身に付けている。 ア 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 エ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 カ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 キ 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ク 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	○随筆 「二月つごもりごろに」『枕草子』 ○漢詩 「鹿柴」「江南春」「梅花」「寄李儋・元錫」 ○日記 「土御門邸の秋」『紫式部日記』 ○文章 「桃花源記」	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・論述、要約、レポート等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
	評価点	200	200	200
2 セメ	○問題演習	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・論述、要約、レポート等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
----	---	----------	----

1セメ	4	○随筆 「二月つごもりごろに」『枕草子』	6
	5	○漢詩 「鹿柴」「江南春」「梅花」「寄李儋・元錫」	7
	6	第1回考査	7
	7	○日記 「鷹」『蜻蛉日記』	7
	8	「土御門邸の秋」『紫式部日記』	2
	9	○文章 「桃花源記」第2回考査	6
2セメ	10	○問題演習	6
	11		8
	12	第3回考査	6
	1	○問題演習	6
	2		6
	3	第4回考査	3

5 その他

- 「言語文化」の授業では小説や詩歌などの文学作品、古文、漢文などを読みます。古文単語や漢文の語彙を調べる必要があるため辞書は必須です。
- 一部 ICT を活用して、振り返りなどの学習活動を行うことがあります。

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理探究	単位数	4
		学年等	6 年文系 地理選択者

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	私たちが暮らす日本社会は今、高度情報化や少子化・高齢化の進展、外国からの旅行者や労働者の流入などにより、異文化への理解や、新しい環境を受け入れる意識が必要とされる。そのために、多様な自然と人間の相互関係や、その文化に注目することは重要な意義となり、その資質・能力を育成することを目指していく。 (1)グローバル化や情報化、少子高齢化など、急激な社会の変化を地理的な視点で捉えながら、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を身に付ける。(2)現代世界における地理的認識を深めながら、地理的技能や地理的見方・考え方を習得する。(3)主体的に社会の形成に参画する態度を身に付ける。
使用教科書 副教材等	教科書:地理探究(二宮書店)、新詳高等地図(帝国書院) 副教材:ウイニングコンパス地理の整理と演習(東京法令出版)、新編地理資料 2023(東京法令出版)、2023 データブック・オブ・ザ・ワールド Vol35(二宮書店)、サクシード地理(啓隆社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国及び世界の生活・文化の地域的特色や防災、地域的・地球的課題への取組などに関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	現代世界の地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っているか。	現代世界の地理的諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしているか。
評価点	200	200	200

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	第Ⅰ編 現代世界の系統地理的考察 第4章 人口、村落・都市 第5章 文化と国家 第Ⅱ編 現代世界の地誌的考察 第1章 地域区分 第2章 現代世界の諸地域	考査・小テスト	考査・小テスト	学習態度 授業プリント提出 作業プリント提出
	評価点	100	100	100
2 セメ	第Ⅲ編 現代世界におけるこれからの日本の国土像	考査・小テスト	考査・小テスト	学習態度 授業プリント提出 作業プリント提出
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	第Ⅰ編 現代世界の系統地理的考察 第4章 人口、村落・都市 ①人口	100
	5	②村落・都市 第5章 文化と国家 ①生活・文化と言語・宗教	
	6	②国家とその領域 第Ⅱ編 現代世界の地誌的考察 第1章 地域区分 第2章 現代世界の諸地域	
	7	①中国 ②朝鮮半島 ③東南アジア ④南アジア ⑤西アジア・中央アジア	
	8	⑥北アフリカ・サブサハラアフリカ	
	9	⑦ヨーロッパ ⑧ロシア	
	10	⑨アングロアメリカ ⑩ラテンアメリカ ⑪オーストラリア	
	11	⑫ニュージーランドと島嶼国	
2セメ	12	第Ⅲ編 現代世界におけるこれからの日本の国土像	60
	1	総復習演習	

5 その他

【年間の学習状況の評価方法】1セメスタから2セメスタまでの評価を総合し、年間の評価とする。

【シラバスについて】シラバスは予定であり、大きな変更を伴うことがある。

【授業プリントの評価について】考查ごとの提出を求めます。プリントの整理については、板書事項だけではなく、その他説明など、より丁寧に記録することを求めます。

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理探究	単位数	3
		学年等	6 年理系 地理選択者

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	私たちが暮らす日本社会は今、高度情報化や少子化・高齢化の進展、外国からの旅行者や労働者の流入などにより、異文化への理解や、新しい環境を受け入れる意識が必要とされる。そのために、多様な自然と人間の相互関係や、その文化に注目することは重要な意義となり、その資質・能力を育成することを目指していく。 (1)グローバル化や情報化、少子高齢化など、急激な社会の変化を地理的な視点で捉えながら、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を身に付ける。(2)現代世界における地理的認識を深めながら、地理的技能や地理的見方・考え方を習得する。(3)主体的に社会の形成に参画する態度を身に付ける。
使用教科書 副教材等	教科書：地理探究(二宮書店)、新詳高等地図(帝国書院) 副教材：ウイニングコンパス地理の整理と演習(東京法令出版)、新編地理資料 2023(東京法令出版)、2023 データブック・オブ・ザ・ワールド Vol35(二宮書店)、サクシード地理(啓隆社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国及び世界の生活・文化の地域的特色や防災、地域的・地球的課題への取組などに関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	現代世界の地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っているか。	現代世界の地理的諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしているか。
評価点	200	200	200

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	第Ⅰ編 現代世界の系統地理的考察 第2章 資源と産業 第3章 人・モノ・金のつながり 第4章 人口、村落・都市 第5章 文化と国家 第Ⅱ編 現代世界の地誌的考察 第1章 地域区分 第2章 現代世界の諸地域	考査・小テスト	考査・小テスト	学習態度 授業プリント提出 作業プリント提出
	評価点	100	100	100
2セ メ	第Ⅲ編 現代世界におけるこれからの日本の国土像	考査・小テスト	考査・小テスト	学習態度 授業プリント提出 作業プリント提出

	評価点	100	100	100
--	-----	-----	-----	-----

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	第2章 資源と産業 ②資源・エネルギー ③工業	80
	5	④第3次産業 第I編 現代世界の系統地理的考察	
	6	第4章 人口、村落・都市 ①人口 ②村落・都市	
	7	第5章 文化と国家 ①生活・文化と言語・宗教 ②国家とその領域	
	8	第II編 現代世界の地誌的考察 第1章 地域区分	
	9	第2章 現代世界の諸地域 ①中国 ②朝鮮半島	
		③東南アジア	
		④南アジア ⑤西アジア・中央アジア	
		⑥北アフリカ・サブサハラアフリカ	
		⑦ヨーロッパ ⑧ロシア	
2セメ	10	⑥北アフリカ・サブサハラアフリカ ⑦ヨーロッパ ⑧ロシア	40
	11	⑨アングロアメリカ ⑩ラテンアメリカ ⑪オーストラリア	
	12	⑫ニュージーランドと島嶼国	
	1	第III編 現代世界におけるこれからの日本の国土像 総復習演習	

5 その他

【年間の学習状況の評価方法】 1セメスタから2セメスタまでの評価を総合し, 年間の評価とする。

【シラバスについて】 シラバスは予定であり, 大きな変更を伴うことがある。

【授業プリントの評価について】 考査ごとの提出を求めます。プリントの整理については、板書事項だけではなく、その他説明など、より丁寧に記録することを求めます。

科目名	日本史探究	単位数	4
		学年等	6年文系 日本史選択者

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	教科書 「詳説日本史」 山川出版社 副教材 「新詳日本史」 浜島書店 副教材 「新日本史研究ノート[標準編]」 啓隆社

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価点	200	200	200

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ スタ	[第Ⅱ部 中世] 第5章 院政と武士の躍進 第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長 第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺 [第Ⅲ部 中世] 第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・討論、要約、発表等	・単元シート ・授業中の行動 観察 ・ワークシート
	評価点	100	100	100
2 セメ スタ	第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・討論、要約、発表等	・単元シート ・授業中の行動 観察 ・ワークシート
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ スタ	4	[第Ⅱ部 中世] 第5章 院政と武士の躍進 1 院政の始まり 2 院政と平氏政権	3
	5	第6章 武家政権の成立 1 鎌倉幕府の成立 2 武士の社会 3 モンゴル襲来と幕府の衰退 4 鎌倉文化	6
	6	第7章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化	8
	7	4 戦国大名の登場 第8章 近世の幕開け 1 織豊政権 2 桃山文化	3
		第1回考查 単元シートを評価	
		第9章 幕藩体制の成立と展開 1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造 3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化	11
		第10章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化	8
		[第Ⅲ部 中世] 第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足	3
		第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立	5
2 セメ スタ		第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制	6
		第2回考查 単元シートを評価 第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展 2 近代文化の発達	6

年間指導計画表(シラバス)

科目名	倫理	単位数	4
		学年等	6年

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	《「知識及び技能」に関わる目標》 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付ける。 《「思考力、判断力、表現力等」に関わる目標》 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。 《「学びに向かう力、人間性等」に関わる目標》 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。
使用教科書 副教材等	使用教科書: 高等学校 倫理(東京書籍) 使用問題集: 高等学校 要点マスター 倫理 整理と演習(東京書籍) 副教材: テオーリア 最新倫理資料集(第一学習社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	○青年期における自己形成や人間としての在り方生き方、現代の倫理的課題などに関した基本的な事柄を他者と共に生きる自己の確立の課題として理解している。さらに、自己の人格形成や課題解決のために生かす知識を身に付けている。	○他者と共に生きる自己の確立について広く課題を発見し、人間の存在や価値、現代の倫理課題などについて多面的・多角的に探究しようとしている。 ○良識ある公民としての広い視野に立つことで、主体的かつ公正な判断をしている。 ○課題についての考察や判断の過程や結果を、様々な方法で論理的に表現している。また、それについての確に反省し、自己評価することができる。	○人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を高めており、人格形成や自己形成の確立に努める実践的意欲を持っている。 ○倫理的な諸課題についての探究的な態度を身に付け、人間としての在り方生き方への自覚を深めようとしている。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セ メ	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 第1章 人間の心のあり方 第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 I 第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・授業感想文	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・授業感想文	・学習課題等 ・授業感想文

	I			
	評価点	200 点	200 点	200 点
2 セ メ	第4章 国際社会に生きる日本人としての自 覚 第2編 現代の諸課題と倫理	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・授業感想文	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・授業感想文	・学習課題等 ・授業感想文
メ	評価点	200 点	200 点	200 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セ メ	4	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 第1章 人間の心のあり方 1節 人間とは何か 2節 人間の心の働き	10
	5	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ 1節 哲学すること 2節 ギリシャの思想 3節 宗教と社会 4節 キリスト教 5節 イスラーム 6節 仏教 7節 中国の思想 8節 芸術 第1回考査	20
	6	第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	15
	7	1節 近代と人間尊重の精神 2節 近代思想の転換	15
	8	3節 人格の尊厳と人倫の思想 4節 社会変革の思想 5節 理性への疑念	5
	9	6節 人間観・言語間の問いなおし 7節 他者・自然とのかかわり 第2回考査	15
	10	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1節 日本人の精神風土 2節 仏教と日本人の思想形成 3節 儒教と日本人の思想形成	15
	11	4節 国学の思想 5節 庶民の思想 6節 西洋思想と日本人の近代化 7節 国際社会に生きる日本人の自覚 第3回考査	20
2 セ メ	12	第2編 現代の諸課題と倫理	15
	1	1節 生命 2節 自然 3節 科学技術 4節 福祉 5節 文化と宗教 6節 戦争と平和	5

5 その他

○大学入学共通テストに対応できるよう

○学習課題や授業感想文の提出について, Google Classroom を活用して行うことがあります。

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	政治・経済	単位数	4
		学年等	6年

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。
使用教科書 副教材等	使用教科書:政治・経済(東京書籍) 使用問題集:要点マスター 政治・経済 整理と演習(東京書籍) 副教材:最新政治・経済資料集(第一学習社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	○現代の政治、経済、社会、国際関係にかかわる基本的な事項や課題について体系的、総合的に理解し、その知識を身につけているか。	○現代の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる諸課題を考察し、それらの本質や特質、さらには望ましい解決のあり方について広い視野に立って多面的、多角的に考察しているか。 ○社会の変化やさまざまな立場、考え方があることを理解した上で公正に判断しているか。 ○課題についての考察や判断の過程や結果をさまざまな方法を駆使して適切に表現しているか。	○現代の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、重要な課題にかかわる事柄に関する諸資料をさまざまなメディアから収集し、有用な情報を適切に選択・活用することができるか。 ○得られた資料や情報を効果的に活用し、社会の諸問題を探究する学び方を身につけているか。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セ メ	第1編 現代日本の政治と経済	・定期考査等	・定期考査等	・学習課題等
	第1章 現代日本の政治	・授業中の行動観察	・授業中の行動観察	・授業感想文
	第2章 現代日本の経済	・授業感想文	・授業感想文	
	第3章 現代日本の諸課題			
	評価点	200 点	200 点	200 点
	第4章 現代日本の諸課題	・定期考査等	・定期考査等	・学習課題等

2 セ メ	第2編 グローバル化する国際社会	・授業中の行動観察	・授業中の行動観察	・授業感想文
	第1章 現代の国際政治	・授業感想文	・授業感想文	
	第2章 現代の国際経済			
	第3章 国際社会の諸課題			
	評価点	200 点	200 点	200 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セ メ	4	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原則 2節 日本国憲法の基本原則	10
	5	3節 日本の政治機構 第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ 第1回考査	20
	6	3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題	15
	7		15
	8		5
	9	第3章 現代日本の諸課題 第2回考査	15
	10	第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治	15
	11	第2章 現代の国際経済 第3回考査	20
2 セ メ	12	第3章 国際社会の諸課題	15
	1		5

5 その他

- 大学入学共通テストに対応できるよう
- 学習課題や授業感想文の提出について、Google Classroom を活用して行うことがあります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	世界史探究	単位数	4
		学年等	6 年

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	① 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。 ② 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ③ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
使用教科書 副教材等	使用教科書：東京書籍『世界史探究』 副教材等：第一学習社『グローバルワイド最新世界史図表』

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	○ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。 ○ 諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	○ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ○ 考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	○ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ○ 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	序章——世界史へのまなざし 第1編 諸地域の歴史的特質 第2編 諸地域の交流と再編 第7章～第12章	○ 定期考査 ○ 小テスト ○ 学習プリント	○ 定期考査 ○ 小テスト ○ 学習プリント	○ 学習課題等 ○ 学習プリント
	評価点	200	200	200
2 セメ	第2編 諸地域の交流と再編 第13章 第3編 一体化していく世界 第4編 グローバル化と地球的課題	○ 定期考査 ○ 小テスト ○ 学習プリント	○ 定期考査 ○ 小テスト ○ 学習プリント	○ 学習課題等 ○ 学習プリント
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ	4	序章——世界史へのまなざし 第1編 諸地域の歴史的特質 第1章 古代文明の出現 第2章 西アジアと地中海周辺 第3章 南アジア 第4章 東南アジア 第5章 東アジアと中央ユーラシア 第6章 アフリカ, オセアニア, 古アメリカ	2 28
	5	第2編 諸地域の交流と再編 第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄	5
	6	第1回考査	1
	7	第8章 中世ヨーロッパ 第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国 第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア 第11章 大交易時代と世界の一体化 第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄	30
	8	第2回考査	1
	9	第2回考査	1

2 セメ	9	第 13 章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	10
		第3編 一体化していく世界	31
		第 14 章 国民国家と近代社会の形成	
		第 15 章 世界市場の形成とアジア諸国の変容	
	10	第 16 章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	
		第 3 回考査	1
	11	第 17 章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容	18
		第 18 章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	
		第 19 章 第二次世界大戦と戦後の東アジア	
	12	第4編 グローバル化と地球的課題	13
		第 20 章 冷戦の世界化と国際制度	
		第 21 章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化	
	1	第 22 章 21 世紀の地球的課題と人類社会	
	2		
	3		

5 その他

- 学習にあたっては、教科書の記述内容の理解を中心に、適宜資料集を参照してください。
- 授業に関する連絡や、学習課題の提示に Google Classroom を用いることもあります。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅲ・数学 C	単位数	数学Ⅲ(2)・数学 C(1)
		学年等	6 年理系

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 数学Ⅲ 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 (3)数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 数学 C 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
	使用教科書:数学Ⅲ・数学 C (数研出版) 傍用問題集:数学Ⅲ + C(数研出版) 副教材:チャート式 基礎からの数学Ⅲ および C(数研出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・学習内容についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・学習内容に関して論理的に考察する力, 構成要素間の関係に着目し, 方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり, 図形の性質を論理的に考察したりする力, 関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力, 関数の局所的な変化に着目し, 事象を数学的に考察したり, 問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。 ・図形の構成要素間の関係などに着目し, 図形の性質を見だし, 論理的に考察する力, 不確実な事象に着目し, 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力, 数学と人間の活動との関わりに着目し, 事象に数学の構造を見だし, 数理的に考察する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとしている。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	数学 C 複素数平面・式と曲線 数学Ⅲ 関数・極限	・定期考査等 ・授業中の行動観察	・定期考査等 LISI ゼミの 記述分析	・学習課題等 ・PDCA シートの 記述分析
		200	200	200
2セ メ	数学Ⅲ 微分法・微分法の応用 数学Ⅲ 積分法・積分法の応用	・定期考査等 ・授業中の行動観察	・定期考査等 LISI ゼミの 記述分析	・学習課題等 ・PDCA シートの 記述分析
		200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	数学 C 複素数平面(問題演習)	5
	5	数学 C 式と曲線(問題演習)	20
		 第1回考査(LISI ゼミ①)	
	6	数学Ⅲ関数(問題演習)	15
	7	数学Ⅲ極限(問題演習)	10
	8	 第2回考査(LISI ゼミ②)	11
	9		20
2セメ	10	数学Ⅲ 微分法・微分法の応用(問題演習)	20
	11	数学Ⅲ 積分法・積分法の応用(問題演習)	10
		 第3回考査(LISI ゼミ③)	
	12		10
	1		
	2		
	3		

5 その他

- 詳細や変更点などは別途配布する「対応表」で確認すること。
- セメスターごとに探究的な活動(LISI ゼミなど)を行います。
- ICT の活用も一部で行います。

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学	単位数	5
		学年等	6年生理科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	物質の構造と反応を理解し、化学的な事物や現象に関する探究活動を実践することにより、化学的な見方、および考え方を養うとともに、科学の発展・科学技術の進歩を体系的に捉え、日常生活とのかわりについて理解を深める。
使用教科書 副教材等	教科書:化学新訂版(数研出版) 問題集:センサー総合化学(啓林館, 継続使用) 化学基礎・化学重要問題集(数研出版) 大学入学共通テスト化学単元別問題集(駿台文庫) 資料集:フォトサイエンス化学図録(数研出版, 継続使用)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	物質やその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。また、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物質やその変化について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身につけている。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ スタ	第4編 第1章 有機化合物の分類と分析 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 アルコールと関連化合物 第4章 芳香族化合物 第5編 第1章 天然有機化合物 第2章 天然高分子化合物 第6編 第1章 高分子化合物の性質 第2章 合成高分子化合物	考查・課題テスト 小テスト 実験プリント	考查・課題テスト 小テスト 実験プリント	学習態度 演習ノート レポート 提出物
	評価点	200	200	200

2 セメ スタ	化学の総復習(Ⅰ)	考查・課題テスト 小テスト	考查・課題テスト 小テスト	学習態度 演習ノート
	化学の総復習(Ⅱ)	実験プリント	実験プリント	レポート 提出物
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1セメ	4	第4編	
		第1章 有機化合物の分類と分析	5
	5	第2章 脂肪族炭化水素	10
		第3章 アルコールと関連化合物	15
	6	第4章 芳香族化合物	10
		 第1回考查	
		第5編	
	7	第1章 天然有機化合物	5
		第2章 天然高分子化合物	10
	8	第6編	
2セメ	9	第1章 高分子化合物の性質	20
		第2章 合成高分子化合物	5
		 第2回考查	
	10	化学の総復習	40
	11	 第3回考查	
	12	化学の総復習	35
	1	 第4回考查	
	2		
	3		

5 その他

--

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	物理	単位数	4
		学年等	6

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	物体の運動、電磁気学の様々な物理現象を、さまざまな物理量、図法を用いて解析し、自然を物理法則と物理的な手法により理解することを目指し、以下の資質・能力を育成する。 (1)単振動、万有引力による運動を運動の法則などを用いて理解する。直流回路、コンデンサー、電磁誘導、交流回路を電場と磁場の概念をもとに理解する。原子については「物理学が築く未来」の内容も含めて知識を深める。 (2)物理法則を学び、図を描いて物理量の関係を把握し、数式による方程式を立式して解を求めることができる。 (3)物理現象を観察し、実験を企画することで、物事を科学的に探究する資質・能力を身に付ける。		
使用教科書 副教材等	教科書	「高等学校 物理」第一学習社	
	副教材	「セミナー物理基礎+物理」第一学習社 物理重要問題集 物理チェックアンド演習	

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	事物、現象について基本的な概念や原理・法則を理解し、それを知識として身につけているか。テストでは知識、概念の理解、及び実験技能の習得状況について評価するための問題を出題する。	文章、図表から物理的状況を把握し、物理法則から方程式を導き、解を求めてその物理的な解釈ができるか。思考をすすめるために適切な図が描けるか。物理的な問題を解決し、正しく表現できるか。これらを、テストによって評価する。	物理現象に対する関心、理解しようとする意欲が、実験・観察の力に現れると考え、実験レポートにより評価する。学習態度については、テスト類への取り組み状況で評価する。演習ノート等の作成状況、物理レポートなど提出物の状況を、主体的に学習に取り組んでいるかの評価に利用する。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ スタ	[第Ⅰ章 運動とエネルギー] 単振動 [第Ⅲ章 電気と磁気] 第1節 電場と電位 第2節 電流 [第Ⅰ章] 第5節 気体の性質と分子の運動 第3節 電流と磁場	考查・課題テスト 小テスト	考查・課題テスト 小テスト	学習態度 演習ノート 実験プリント 物理レポート
	評価点	200	200	200
2 セメ スタ	第4節 電磁誘導と交流 [第Ⅳ章 原子] 第1節 電子と光 第2節 原子と原子核 終章 物理学が築く未来	考查・課題テスト 小テスト	考查・課題テスト 小テスト	学習態度 演習ノート 実験プリント 物理レポート
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ スタ	4	〔第Ⅰ章 運動とエネルギー〕 単振動 実験を観察し、物理レポートを提出して評価	70
	5	〔第Ⅲ章 電気と磁気〕 第2節 電流	
	6	第1回考査 単振動 電流について出題 演習ノート进行评估	
	7	第1節 電場と電位 〔第Ⅰ章〕第5節 気体の性質と分子の運動	
	8	第2節 電流と磁場	
	9	第4節 電磁誘導と交流 電磁誘導についての実験をし、実験レポートを提出して評価	
		第2回考査 磁場、電磁誘導について出題 演習ノート进行评估	
2 セメ スタ	10	〔第Ⅳ章 原子〕	70
	11	第1節 電子と光 第2節 原子と原子核	
	12	第3回考査 交流回路と原子について出題 演習ノート評価	
	1	終章 物理学が築く未来 物理問題演習	
	2		
	3		

5 その他

- ・授業では物理量の定義、法則を理解して典型的な物理系を理解することに多くの時間を配分する。
- ・生徒間で協働する場面を多数設定するので、積極的に活動し、新しい学力を身に付けること。
- ・生徒実験や、演示実験を観察した際に実験プリントの作成、物理レポートを課す。
- ・小テスト、課題テスト、考査の成績をもとに、粘り強く計画的に学習する力を評価する。

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物	単位数	4
		学年等	6

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
使用教科書 副教材等	教科書 「高等学校 生物」第一学習社(継続使用) 副教材 「2023 新課程 セミナー生物」第一学習社(継続使用) 資料集 「スクエア最新図説生物neo」(第一学習社)(継続使用)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	自然や生物や生命現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然や生物や生命現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	自然や生物や生命現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。また、考査への取り組み、ノート等の作成、レポートや振り返り、提出物などを通じて、自己の課題を認識し、改善するための手立てを講じている。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ スタ	〔第6章 遺伝子に発現調節と発生〕 第1節 遺伝子の発現調節 第2節 発生と遺伝子の発現 〔第7章 遺伝子を扱う技術とその応用〕 第1節 遺伝子を扱う技術 第2節 遺伝子を扱う技術の応用 〔第8章 動物の反応と行動〕 第1節 刺激の受容と反応 第2節 動物の行動 〔第9章 植物の成長と環境応答〕 第1節 植物と環境	考査・課題テスト	考査・課題テスト	学習態度 授業・実験プリント 振り返りプリント
	評価点	200	200	200

2 セメ スタ	〔第9章 植物の成長と環境応答〕 第2節 植物の一生と植物ホルモン 〔第10章 生態系のしくみと人間の関わり〕 第1節 個体群と生物群集 第2節 生態系の物質生産と消費 第3節 生態系と人間生活	考查・課題テスト 実験プリント	考查・課題テスト 実験プリント	学習態度 授業・実験プリント 振り返りプリント
	評価点	200	200	200

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 セメ スタ	4	〔第6章 遺伝子に発現調節と発生〕 第1節 遺伝子の発現調節 ①遺伝子の発現調節	80
	5	第2節 発生と遺伝子の発現 ①動物の配偶子形成と受精 ②ショウジョウバエの発生における遺伝子 ③カエルの発生における遺伝子の発現 ④発生過程にみられる多様性と共通性 第1回考查 生命の起源と細胞の進化について出題 第1回考查, 授業プリント, 振り返りプリントを評価	
	6	〔第7章 遺伝子を扱う技術とその応用〕 第1節 遺伝子を扱う技術 ①遺伝子の単離と増幅 ②遺伝子の構造や発現を解析する方法 ③遺伝子の機能を解析する方法 第2節 遺伝子を扱う技術の応用 ①人間生活への応用 ②遺伝書を扱う際の課題 第2回考查 生物の系統と進化について出題 第2回考查, 授業プリント, 振り返りプリントを評価	
	7	〔第8章 動物の反応と行動〕 第1節 刺激の受容と反応 ①刺激の受容と反応 ②神経系とニューロン ③ニューロンによる電気的な信号の生成とそれを伝えるしくみ 第2節 動物の行動 ①動物の行動 ②生得的行動 ③習得的行動と学習	
	8	〔第9章 植物の成長と環境応答〕 第1節 植物と環境 ①植物の刺激の受容と情報の伝達	
	9		

2 セメ スタ	10	第2節 植物の一生と植物ホルモン ① 被子植物の受精と胚発生 ② 種子の発芽と光環境 ③ 植物の環境応答と成長 ④ 花芽形成と花の形成 ⑤ 果実の成長と成熟, 落葉・落果 〔第10章 生態系のしくみと人間の関わり〕	60
	11	第1節 個体群と生物群集 ① 個体群とその特徴 ② 個体群の変動と維持 ③ 個体群内の相互作用 ④ 個体群間の相互作用 ⑤ 多様な種が共存するしくみ	
	12	第2節 生態系の物質生産と消費 ① 物質生産 ② 物質とエネルギーの移動	
	1	第3節 生態系と人間生活 ① 生態系と生物多様性 ② 人間活動と生態系の変化 ③ 生物多様性の保全とその意義 第3回 考査 細胞と分子について出題 第3回 考査, 実験レポート, 授業プリント, 振り返りプリントを評価 総復習演習	

5 その他

【年間の学習状況の評価方法】

1セメスタから2セメスタまでの評価を総合し, 年間の評価とする。

【シラバスについて】

シラバスは予定であり, 5年時の生物の進度や授業の内容の理解度により進度を変更することがある。

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育	単位数	2
		学年等	6学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育(大修館書店)、Active Sports 総合版(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
評価点	200	200	200

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1セ メス ター	Ⅰ期【体育実技】 ○体づくり運動 ○選択① ・バドミントン ・卓球 ・バレーボール ・バスケットボール ・テニス ・サッカー ・ソフトボール ○体育理論 体育編3単元 豊かなスポーツライフの設計 1. 生涯スポーツの見方・考え方 2. ライフスタイルに応じたスポーツ	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと) 筆記テスト(体育理論)	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント
		50	50	50
	Ⅱ期【体育実技】 ○選択② ・バドミントン ・卓球	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと) 筆記テスト(体育理論)	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント

	・バレーボール ・バスケットボール ・テニス ・サッカー ・ソフトボール ○体育理論 体育編3単元 豊かなスポーツライフの設計 3. スポーツを推進する取り組み	論)		
		50	50	50
2セ メス ター	Ⅲ期【体育実技】 ○選択③ ・バドミントン ・卓球 ・バレーボール ・バスケットボール ・テニス ・サッカー ・ソフトボール ○体育理論 体育編3単元 豊かなスポーツライフの設計 4. 豊かなスポーツライフの創造	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと) 筆記テスト(体育理論)	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント
		50	50	50
	Ⅳ期【体育実技】 ○選択④ ・バドミントン ・卓球 ・バレーボール ・バスケットボール ・テニス ・サッカー ・ソフトボール	実技テスト(基礎) 筆記テスト(種目ごと)	実技テスト(発展) 課題プリント	授業観察 授業(学習)プリント
		50	50	50

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
----	---	----------	----

1 セ メ ス ター	4	I 期【体育実技】 ○体づくり運動	35
	5	○選択①	
	6	○体育理論 体育編3単元 豊かなスポーツライフの設計 1. 生涯スポーツの見方・考え方 2. ライフスタイルに応じたスポーツ	
	7	II 期【体育実技】 ○選択②	
	8	○体育理論	
2 セ メ ス ター	9	体育編3単元 豊かなスポーツライフの設計 3. スポーツを推進する取り組み	35
	10	III 期【体育実技】 ○選択③	
	11	○体育理論	
	12	体育編3単元 豊かなスポーツライフの設計 4. 豊かなスポーツライフの創造	
		IV 期【体育実技】	
	1	○選択④	
	2 3		

5 その他

- ・ICT 機器等も活用しながら授業を展開していく。
- ・グループ活動や生徒同士の協同学習の場面も積極的に取り入れながら授業を行い、活動への参加姿勢も評価の対象とする。
- ・種目ごとに学習プリントを提出させ、その都度、評価していく。
- ・実技種目への参加姿勢、授業での取り組みを総合して評価していく。

様式

年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーションⅢ	単位数	3
		学年等	6 年生

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	英語コミュニケーションⅢの授業内容をさらに深めて学習することにより、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。
使用教科書 副教材等	・「ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION Ⅲ」(東京書籍) 英単語ターゲット1900(旺文社) 英語総合問題集 TREASURE HUNT 4 New Edition(いっずな書店)(継続使用)1, 3S クラス 英文読解 FOCUS 記述標準編(Z 会) アップリフト英語長文読解 入試演習2(Z 会)2, 4S クラス READING HOPE 大学入学共通テストリーディング対策(美誠社) 共通テスト対策実力完成 直前演習英語リーディング40分×14回(ラーンズ)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」の五つの領域において、「英語の特徴やきまりに関する事項」である言語材料、「音声」、「句読法」、「語、連語及び慣用表現」、「文構造及び文法事項」を知識として理解するとともに、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能として身につけている。	「聞くこと」 日常的な話題や社会的な話題について話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて一定の支援を活用すれば必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。 「読むこと」 日常的な話題や社会的な話題について使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。 「話すこと【やり取り】」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して詳しく話して伝え合ったりすることができる。 「話すこと【発表】」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。 「書くこと」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。	「聞くこと」 日常的な話題や社会的な話題について話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて一定の支援を活用すれば必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりしようとしている。 「読むこと」 日常的な話題や社会的な話題について使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりしようとしている。 「話すこと【やり取り】」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して詳しく話して伝え合ったりしようとしている。 「話すこと【発表】」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えあおうとしている。 「書くこと」 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えあおうとしている。
評価点	100	100	100

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 セメ	Unit1～6	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・スピーチ、討論、 要約、発表等	・振り返りシート ・授業中の行動 観察 ・ワークシート
	評価点	100	100	100
2 セメ	Unit7～10	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・スピーチ、討論、 要約、発表等	・振り返りシート ・授業中の行動 観察 ・ワークシート
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元	学習内容	時数
1セメ 前半	4 5 6	Unit 1 What thinking and study habits can help us succeed?	[題材内容] 勉強や仕事に有効な考え方や習慣について学ぶ。 [言語活動] 勉強の悩みについて助言し合ったり、効果的な勉強法を話し合ったりする。 [言語の働き] 似た経験を述べ合う、言い換える	30
		Unit 2 How can we use AI to improve education?	[題材内容] AI の進化と社会に与える影響について学ぶ。 [言語活動] 教育において AI がもたらす利点に関するエッセイを書く。 [言語の働き] 希望を述べる、賛成する、疑念を示す	
		Unit 3 What do folktales tell us about human values?	[題材内容] 文化人類学の観点から、世界の民話の特徴や類型を学ぶ。 [言語活動] 民話を語り、その教訓について話し合う。 [言語の働き] 意見を受け止める、別の意見を述べる	
1セメ 後半	7 8 9	Unit 4 What items would you place in a time capsule?	[題材内容] 「タイムカプセル」に残された物から何を学べるか、未来に向けて何を残したいかを考える。 [言語活動] 学校や地域の象徴として何をタイムカプセルに入れるかを話し合い、発表する。 [言語の働き] 賛成・反対する、提案する	27
		Unit 5 What are the rewards and challenges of living in a different culture?	[題材内容] 古今東西の事例から、異文化の中で暮らすことの意義と困難について考える。 [言語活動] 異文化の中で暮らすことで得られるものと直面する困難についてエッセイを書く。 [言語の働き] 理由を述べて断る	

2セメ 前半	10 11	Unit 6 How can art be made accessible to all?	[題材内容] だれもが楽しめる芸術のあり方について考える。 [言語活動] 芸術作品を描写したり, 作品から感じたことを話し合ったりする。 [言語の働き] 相手の発言を訂正する	21
		Unit 7 How can we preserve life below water?	[題材内容] 持続可能な社会のための資源の開発や養殖の取り組みについて知る。 [言語活動] 身近な魚について, その生態や問題に関するレポートを書く。 [言語の働き] 勧める, 断る, 理由を尋ねる	
2セメ 後半	12 1	Unit 8 Is there anything money can't buy?	[題材内容] スポンサーシップや命名権などの金銭と倫理の問題について知る。 [言語活動] 学校の命名権を売ることについて意見を述べ合う。 [言語の働き] 提案する, 意義を示す	27
		Reading Enrichment 1	[題材内容] Nineteen Eighty-Four by George Orwell(抜粋) [言語活動] 架空の世界を想像して読む	
		Reading Enrichment 2	[題材内容] Dead Men's Path by Chinua Achebe [言語活動] 書き手の意図を考えながら読む	

5 その他

【課題・提出物など】 ◎Unit Activity の発表、ライティング ◎授業用ワークシート 【評価方法】 ①言語活動の取り組み状況の観察(思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) ②パフォーマンステスト[Unit Activity の発表、ライティング、Speaking Review Task](思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) ③上記課題等の提出(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) ④小テスト、定期考査、評価問題など(知識・技能、思考・判断・表現)
--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理表現Ⅲ	単位数	2
		学年等	6年生全員

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。
使用教科書 副教材等	・使用教科書: CROWN Logic and Expression Ⅲ (三省堂) DUAL SCOPE 総合英語 High School English 新訂版 (数研出版)(継続使用) New Edition Vintage 英文法・語法(いづな書店)(継続使用) Clues to Reading 英文和訳の徹底演習(数研出版)(継続使用) 入試必携 英作文 Write to the point 三訂版(数研出版)(継続使用) 共通テスト対策実力完成 直前演習英語リスニング(ラーンズ) Reach 30 Listening 30×7回 (2024年度版)(美誠社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	[知識] 各課の文法等について理解している。表現形式と機能を理解している。 [技能] 聞いて得た情報を伝えたり、相手に薦めたりする際のやり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを伝え合う技能を身に付けている。	複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して表現して伝えたり、相手からの質問に応答したりしている。論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながらスピーチやディスカッションやディベートができる。	主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して伝えようとしたり、相手からの質問に応答したりしようとしている。主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、聞き手を意識しながら主体的にスピーチやディスカッションやディベートができる。
評価点	100	100	100

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1セメ	Unit1～5	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・スピーチ、討論、要約、発表等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
	評価点	100	100	100
2セメ	Unit6～10	・定期考査等 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査等 ・スピーチ、討論、要約、発表等	・振り返りシート ・授業中の行動観察 ・ワークシート
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

	課	タイトル	主な言語材料	題材／場面	はたらき	時数
1セメ 前半	L1	Global Language	時制・助動詞・受動態／ 賛成・反対の表現	言語・外国語／スピーチ、ディスカッション、手紙を書く	賛成・反対する、主張する、理由を述べる	20
	L2	Millennials' Consumption Trends	不定詞・動名詞・分詞／ 例証の表現	経済・ビジネス／プレゼンテーション、ディベート、エッセイを書く	例を挙げる、説明する、主張する、理由を述べる	
	C1	エッセイを要約してみよう				
1セメ 後半	L3	Space Odyssey	仮定法・接続詞／ 時間的順序を表す表現	科学・技術／スピーチ、ディスカッション、レポートを書く	説明する、理由を述べる、意見を述べる	18
	L4	Art or Graffiti?	比較・関係詞／ 確信／提案・勧誘／ 伝聞の表現	芸術／プレゼンテーション、ディベート、投稿文を書く	意見を述べる、理由を述べる	
	C2	効果的なパラグラフにするために①				
2セメ 前半	L5	Media and Information Literacy	疑問詞／ 忠告・義務／必要／ 譲歩の表現	情報・リテラシー／スピーチ、ディスカッション、エッセイを書く	意見を述べる、理由を述べる	14
	L6	Are You a Great Creative Thinker?	否定／ 比較・対照を表す表現	創造性／プレゼンテーション、エッセイを書く	説明する、意見を述べる、理由を述べる	
	C3	効果的なパラグラフにするために②				
2セメ 後半	L7	Green Wisdom	名詞・冠詞／ 統計資料を説明する表現	環境／スピーチ、ディスカッション、エッセイを書く	説明する、意見を述べる、理由を述べる、例を挙げる	18
	L8	What Happiness? Is	特殊構文／ 因果関係を表す表現	平和・幸福論／プレゼンテーション、ディスカッション、エッセイを書く	説明する、意見を述べる、理由を述べる、例を挙げる	
	C4	日本語と英語の表現を比較してみよう				

5 その他

【課題・提出物など】

◎提出用副教材

◎授業用ワークシート

【各考査成績の評価方法】

- ①言語活動の取り組み状況の観察(思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度)
- ②パフォーマンステスト(思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度)
- ③上記課題等の提出(知識・技能, 思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度)
- ④小テスト, 第1回～第4回考査, 評価問題など(知識・技能, 思考・判断・表現)